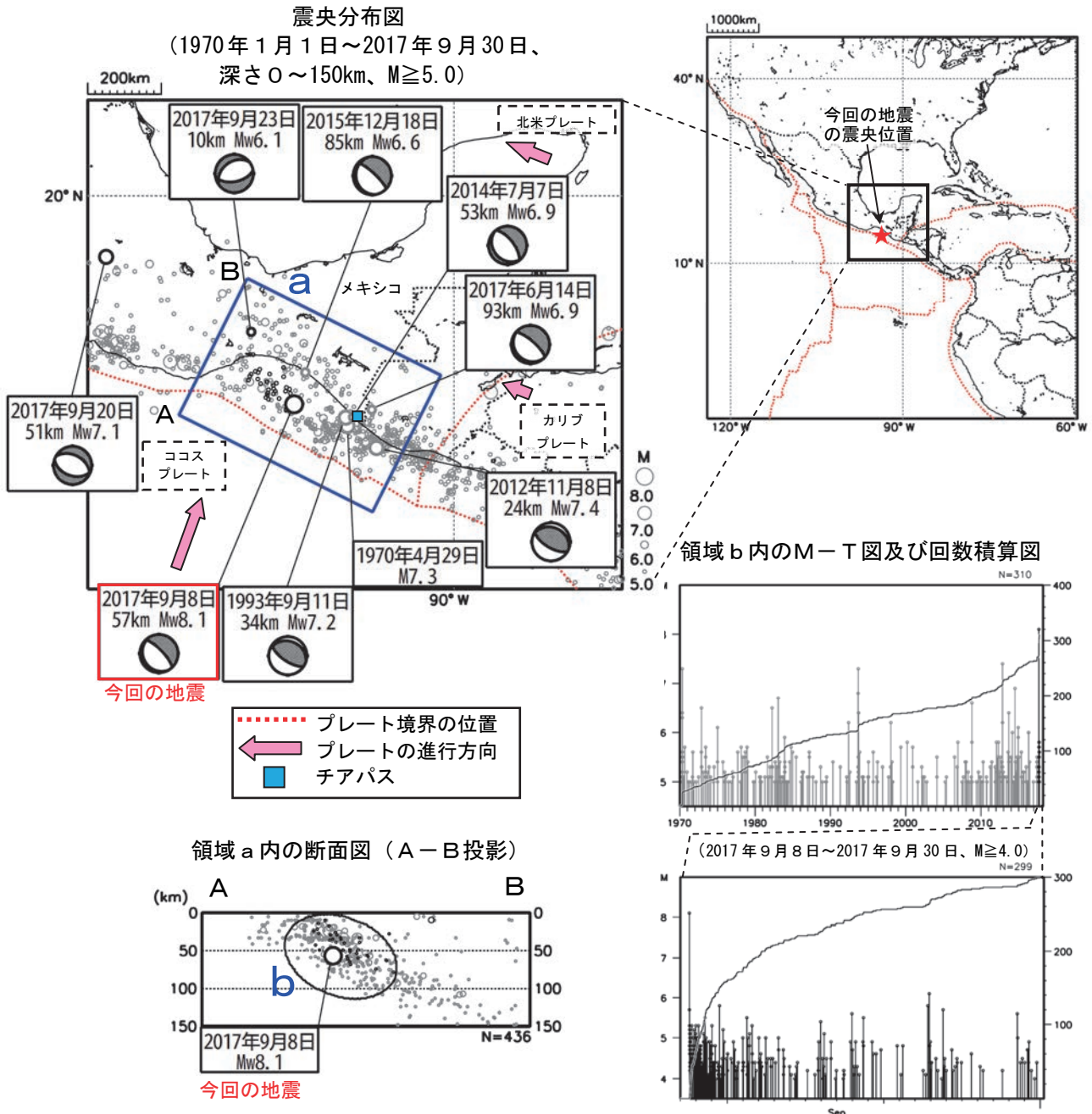


## 9月8日 メキシコ、チアパス州沿岸の地震

2017年9月8日13時49分（日本時間、以下同じ）に、メキシコのチアパス州沿岸の深さ57kmでMw8.1の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が北東－南西方向に張力軸を持つ正断層型で、北米プレートに沈み込むココスプレート内部で発生した。この地震の発生後、今回の地震の北西約200kmにかけて活発な地震活動がみられている。この地震により、現地で死者98人等の被害が生じている。

気象庁は、この地震について同日14時19分に遠地地震に関する情報（日本への津波の有無については現在調査中）、15時22分に同情報（震源要素の更新と現地で津波を観測）、17時40分に同情報（日本の沿岸では被害の心配なし）を発表した。今回の地震により津波が発生し、メキシコのチアパスで最大1.76mの津波を観測した。なお、日本の沿岸では津波は観測されなかった。

1970年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M8を超える地震が今回初めて発生した。2012年11月8日には、ココスプレートと北米プレートの境界でMw7.4の地震が発生し、主に津波により死者48人以上、行方不明者100人、負傷者155人などの被害が生じている。



※本資料中、2017年9月23日の地震の発震機構とMwは米国地質調査所（USGS）、2009年以降のその他の地震の発震機構及びMwは気象庁、2009年以前の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。その他の地震の震源要素はUSGSによる（2017年10月5日現在）。今回の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）による（2017年9月22日現在）。その他の被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による。津波の高さは、米国海洋大気庁（NOAA）による（2017年9月30日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）\*より引用。

\*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.